

愛知万博グローバルコモン6 フィリピンパビリオン
フィリピン・ナショナルデー・セレブレーションのご案内
9月20日(火) 11:00～ 愛知万博 EXPO ドーム

フィリピン共和国は、愛知万博ナショナルデーの式典を、9月20日(火)午前11:00より愛知万博長久手会場の EXPO ドームにて開催いたします。当日は、フィリピン共和国観光省長官 ジョセフ・エース・ドゥラノ長官、シアゾン駐日フィリピン大使らが出席する予定となっております。

式典は、公式のセレモニーに加えて、会場ではフィリピンの文化紹介として、国際的に有名なフィリピン芸術家の作品を展示いたします。また、カルチャープログラムでは、フィリピンのバレエ・フォークダンス・ストリートダンスなどフィリピンの伝統と優美さを体感できる、様々な公演を鑑賞していただけます。

【フィリピン・ナショナルデー式典実施概要】

【日時】 平成17年9月20日(火)
フィリピン・ナショナルデー式典：午前11時00分～12時25分

【会場】 愛知万博長久手会場 EXPO ドーム
グローバルコモン4 敷地内

【スケジュール】

11:00～ セレモニー開始

内容：日本国際博覧会政府代表スピーチ・日本国際博覧会協会会長スピーチ
ドゥラノ観光省長官スピーチ・豊川市フレンドシップ事業大使による花束贈呈

11:25～12:25 カルチャープログラム

※ 詳細は次ページをご参照ください。

※スケジュールは変更になる場合がございます。

<当日公演予定カルチャープログラムのご紹介>

- **ムガ・カトウトゥボン・アウィティン (MGA KATUTUBONG AWITIN)**
喜びに満ちたフィリピンフォークソングのコンピレーション。
- **アラブ・ング・バゴング・ウマガ (ALAB NG BAGONG UMAGA)**
力強く、カラフルな部族の踊り。
- **カトウトゥボ:イト・カミ・ヌーン (KATUTUBO: ITO KAMI NOON)**
住民のグループが、フィリピーノの生活を鮮やかに描いた、フィリピーノ精神を称賛しているダンス。
- **バイレ・ドウ・アヤー (BAILES DE AYER)**
スペインの影響を色濃く受けた過去を表している有名なマントン・ドウ・マニラを誇示するようなダンス。
- **ゴルピアド・マキマロ (GOLPIADO MAKIMALLO)**
この名前は、スペイン語で叩くことを意味する『ゴルピアド』と、博愛心を意味する『マキマロ』から由来しています。踊りは神への博愛を訴え、そしてその感謝の意を示すものです。
- **サリン (SALIN)**
フィリピン最大の島、ルソン島の様々なところから、中国の影響を受けているフォークダンスのサクティング、ココナッツの実を集める人達を表現したマグララティック、火が灯ったオイル・ランプを頭と後ろに回した手に載せて踊るパンダンゴ・サ・イーラウ、漁師が日の出の時に海に出て行く様子を表現したオアシオアスなど、テクニクと陽気さが繰り広げられる生き生きとしたダンスの連続パフォーマンス。
- **バヤン・コ (BAYAN KO)**
フィリピンの愛国的な歌の「バヤン・コ」が使われているフィリピンの伝統演劇『ワラング・スガット (*Walang Sugat*)』からの1シーン。
- **ピノイ・アコ (PINOY AKO)**
フィリピンの愛国心を賛美する歌にあわせて踊るコンテンポラリー・ダンスの舞踏団。
- **サブリ (SUBLI)**
最も有名で愛されているフィリピンのフォークダンスの一つであり、この「サブリ」には宗教、伝統、現代の3つの側面を持っています。この3つの全ての中で、踊りと歌と演劇が織り交ざった独特な演出が楽しめます。生命への祝福と人の神に対する献身の描写など、このサブリには社会的で精神的なフィリピン人、生活、そして生命への祝福が最大限に描かれています。
- **リヤビ グ パササラマ アット パグディリワン (LIYAB NG PASASALAMAT AT PAGDIRIWANG)**
最後は多様性のあり多彩なコンテンポラリー・ミュージックと、ルソン島・ビサヤ島・ミンダナオ島の伝統舞踊により、フィリピン人の魂の祝福を演じます。

フィリピン・パビリオン AICHI EXPO 2005

■ テーマ

フィリピン・パビリオンは万博全体のテーマである「自然の叡智」を反映したもので、テーマは “Usbong : SEEDS OF LIFE: ウスボン(生命の種)”です。ウスボンとはフィリピン語で「種子からの成長」を意味します。種はすべての生命の不思議の象徴です。外見は休眠中の小さな穀ですが、中身はエネルギーと生命力の宝庫です。そして時機がくれば中身ははじけ出し(ウスボン)、色とりどりの花や力強い木々を産み出します。

■ 場所

フィリピン・パビリオンは、長久手会場内、東南アジアやオセアニアのパビリオンのあるグローバル・コモン6にあります。

■ マスコット「CoCo(ココー)」

マスコットはフィリピンにすむターシャという世界最小のメガネザルの一種を図案化しました。愛称は「CoCo(ココー)」で、多彩な生き物が生息する自然を象徴しています。

■ 伝統的なマッサージ『ヒロット』を無料体験

館内には、ココナツの殻で覆われた直径約7メートルのアルミの球体「香りの繭」が設置されています。内部は2層構造となっており、1階では国花「サンパギータ」や「ヤランヤラン」といった花々、「ビグナイ」や「ドウハ」などの果物、ハーブの香りのお茶、「ラナ」と呼ばれるココナツオイルを“見る、味わう、感じる、嗅ぐ、触る”など、とてもユニークな感覚的な体験をすることができます。

2階ラウンジにはココナツ材の家具・装飾品が展示され、セブ島に伝わるヤシ油を使った伝統マッサージ「ヒロット」を無料体験できます。

このほか、文化や動植物などフィリピンのさまざまな風物が壁や天井に映像で映し出されます。

■ 「自然の叡智賞・金賞」受賞！！

2005年国際博覧会(愛・地球博)に出展中の「フィリピン・パビリオン」は、財団法人2005年国際博覧会協会が主催する第1回「自然の叡智賞」カテゴリーC部門(1モジュール以下のパビリオン部門)において、金賞を受賞いたしました。

「自然の叡智賞」は、2005年国際博覧会への120カ国の公式参加国が出展する69のパビリオンを対象に、愛・地球博のテーマである「自然の叡智」の実現に向けた努力を褒章するもので、パビリオンの外観・内装・および展示内容などが評価されるものです。

※尚、当日(9月20日)のフィリピン館のオープンは、午後4時からとなっております。